

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月25日(木)

会場:吉舎生涯学習センター

参加者数:38人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>昨年は、吉舎町のまちづくりビジョンを検討し、新たなまちづくりビジョンを昨年10月に策定し、町民の方にお知らせさせていただいた。大きなビジョンとしては、「自然がきらめき、学びあい、ふれ合い、人が輝くまち吉舎」ということで、日彰館高校を活かして人と教育、地域内外の人々の出会うまちとしての交流、定住と環境の3つの柱で活動を進めていくよう考えている。特に定住に関しては、「自然を守り環境に優しいまち」、「ともに安心して暮らせるまち」、「伝統文化をつなぐまち」の3本柱を定住環境の施策づくりの柱として、地域の皆さんと一緒に定住環境の改善に取り組んでいきたいと考えている。地域の皆さん、地域応援隊、行政の支援もいただいて、成果が挙げられるよう取り組んでいきたい。</p>	<p>吉舎のふるさと祭り、辻の神殿入といった素晴らしい文化が継承されており、頭の下がる思いである。教育のまちとして、100年を超える伝統のある日彰館高校を将来にわたって引き継いでいくことが吉舎町の将来を大きく左右する課題である。日彰館高校を守り、また充実させていくために、市教育委員会で小・中学校の充実を図っていくことが重要であると考えている。</p>	
<p>7月豪雨では、吉舎町の中でもいくつも災害が発生している。復興復旧について被害の大小に関わらずその状況について、迅速で丁寧な情報提供をお願いしたい。</p>	<p>・公共土木災害の件数については、市内約200か所が被災している。被害額は、現在約20億円を想定している。12月までに国の補助金を受けるための査定を受検している状況である。復旧工事は3か年で復旧ということが決まっているが、できるだけ早い復旧をめざしている。査定終了後には、生活に影響の多い道路を優先し、災害の恐れのある河川等があれば、その対応から進めていきたいと考えている。</p> <p>・農業災害関係は、約1200～1300件の被害件数である。農地・農業施設については、所有者の方にご負担いただき、国庫等の補助を得て直していくことになる。通常農地・農業施設では、50%から60%の補助でしかないが、今回の災害は激甚災害指定を受けているため、なんとか約9割の補助に上げていきたいと考えている。市長以下95人体制で土木農林災害復旧対策本部を設置し、全庁的に取り組んでいる。職員体制としては、国や県からも支援をいただいております。コンサルタントについては、県外からの応援もいただき取り組んでいる。合併以降、最も大きかった農業災害で年間で約150～170件の被害件数だったが、今回は、700件以上の数が出ている。まずは水利施設、来年度にため池、農地の復旧は再来年度になると思う。いずれにしても、なるべく早く取り組んでいくよう全力を挙げている。個別の説明については、支所と連携をとりながら、わかりやすい丁寧な説明を心掛けていきたい。</p> <p>・災害復旧にあたっては、市内のコンサルタントだけでは足りず、島根県や全国に発信して対応している。国が簡素化した災害査定を認めており、写真で査定を完了するなどしている状況である。査定後には、設計書の作成や入札工事など、まだまだ大きな関門があり厳しい状況である。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月25日(木)

会場:吉舎生涯学習センター

参加者数:38人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>吉舎町には、雨に関連した避難施設が30施設ある。災害の状況により、そこが避難場所と捉えておられる。市において開設される避難所は、当初自主避難所として1か所のみとなっており、広範囲を移動するには危険が伴う。日常行き慣れた場所を避難所にすべきであり、町内には6つの自治組織があるので、それぞれに少なくとも1か所、あるいはそれ以上の設置が必要と考える。被害状況が拡大すれば、より身近な場所に避難することが必要であると思うので検討していただきたい。</p>	<p>・7月豪雨では、市内全域で37か所。吉舎町では3か所の避難所を開設した。自主防災組織では、市内全域で66か所の避難所を開設していただいた。吉舎町でも、11か所開設していただき、100人以上の方が避難されたと把握している。大規模災害時の避難所のあり方をどうするかについては、現在総括し、検証・検討をしている。避難所の指定は、市だけでなく、地域住民の方と話し、避難場所や避難経路を考えさせていただきたい。本年度ハザードマップを作成することになっているので、この時に多くの方にお越しいただき、危険個所の確認をしていただいたり、避難場所や避難経路について一緒に考えていきたい。避難所の開設にあたっては、市の職員が100名以上で対応しているが、市の対応だけでは限界があり、自主防災組織や住民自治組織の方の協力を得なければ命を守る行動がとれないことを検証している。ハザードマップ作成の際には、皆さんの協力を得て避難の体制づくりを進めていきたいのでご協力をお願いしたい。</p> <p>・今日の災害では、行政の指定避難所だけで守れるとは思っていない。避難所については、どこが一番安全な場所か皆さん方の中でも協議いただき考えていただきたい。住民自治組織については、他の地域は1か所であるが、吉舎町は特例であるのでご承知おきいただきたい。ただ、自主防災組織については、それなりの支援をしていながら、命を守るための支援策を考えていけないといけないと思っている。本当の意味で命をどう守っていくかというのは、地域に出向き皆さんと一緒に考えていきたい。</p>	
<p>拠点施設に関しては、昨年7月に検討委員会を立ち上げ、検討委員会から市長に要望書を提出した。趣旨はまちづくりビジョンに基づき、これからのまちづくりの拠点となる施設、防災の拠点となる施設、子どもの居場所づくりを主にした。その後、市でプロポーザルによる業者選定が行われ、11月16日に公開ヒアリングの後、設計業者の決定となった。その間検討委員会では、昨年12月から今年の3月にかけて、検討委員会、専門部会、施設利用団体による5回のワークショップを開催し、拠点施設の機能や規模を検討した。人口減少の中で施設がどうあるべきかや、子育て教育や福祉・交流・まちづくりといった観点で協議を進め、当初の要望がかなり整理され、コンパクトな計画にまとめられたと考えている。この計画は、市議会の全員協議会にかけられ、昭和47年水害に係る意見があったが、それ以外特に異論はなかったと伺っている。浸水害についても検討したので、設計に反映されるものと考えている。基本計画の中で、支所のリノベーション部分について議論となったが、古い施設の利活用の一例になるものと考えている。現在の支所に、支所、図書館、放課後児童クラブ、生涯学習センター、商工会議所を入れるのは窮屈なものとなるが、まちづくりやそれぞれの協調も問われたものと感じ、これから一体エリアの新しい展開がまとめられていくものと思う。これからの行程は、業者から概略設計案が提出された後、ワークショップを開催して案を検討し、関係組織のヒアリングを経て、設計、その案の説明会となる予定。自治振興連合会も施設の主たる運営管理者として、まちづくりの拠点として相応しい利用計画や管理運営方針を定める作業が残っている。生涯学習センター改修事業であったものを複合拠点施設整備事業に転換し、検討・調整手続きで協力いただいた支所、政策部をはじめ、三次市の支援に感謝する。</p>		

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月25日(木)

会場:吉舎生涯学習センター

参加者数:38人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>町内6つの住民自治組織では自主防災組織が一体となっている。住民自治組織の活動においては、自主財源の確保に苦慮している。住民自治活動支援交付金に頼っている。このうち運営費については人口5,000人を基準にされ、それより多いか少ないかで決められているが、5,000人以下の自治組織がほとんどである。もうひとつランクを追加するなど、運営費の算定について増額が考えられるような見直しについて考慮いただきたい。</p>	<p>自治組織支援交付金については、近年全体で1億7千万円代の状況で、算定には人口などをベースにしている。人口減少の中で、吉舎町以外の住民自治組織からも様々な意見をいただいている。金額については、他の自治体に引けを取るわけではないが、どういう決定の仕方が良いか、課題意識を持って検討させていただきたい。</p>	
<p>支所の性質やどういった権限をもたせているのか知りたい。拠点整備については、本来吉舎支所が説明するのが一番良いと考える。まちづくり委員会はまとめて要望を出すのが決定権はない。支所と共に進めていきたいと考えているが、支所には行政の下書きをなぞっていくような面があると感じる。</p>	<p>支所の位置づけは、合併の際に設けた、行政の組織機構に位置づけたもので、ひとつは、窓口機能、もうひとつは特色あるまちづくりを進めるための組織である。地域の皆様の相談や要望は各支所で受けさせていただく。まちづくりは、まちゆめ基本条例に基づいて進めさせていただいている。協働のまちづくり、市民参加のまちづくりで、市民の皆様の幸せをめざして行うもので、地域のみなさんの要望は支所で受けさせていただくが、この度のような地域の拠点施設を考えながら進めさせていただく場合、ワークショップ形態をとらせていただき、地域の皆さんの声も伺いながら一緒に企画立案を進めさせていただいた。施設の整備については、行政が責任をもって行うべきだが、企画立案についてはワークショップで市民のみなさんにご協力いただいたことに感謝を申し上げる。完成した暁には、多いに利用していただきたいので、引き続きご協力をお願いしたい。</p>	
<p>農業施設に関して、米作りを依頼されている農家が多く、水田の草刈りと水の管理は地主が行う契約となっていることがほとんどであると聞く。このたびの災害によって、農業施設が崩壊したところが多くある。水を上げるポンプが壊れたり水路が使えなくなっており、地主の方がポンプやホースのリース代、燃料代等の負担金を強いられた状況である。直してもらう部分の自己負担については、助成金もあると思うので覚悟はあるが、来年以降、農業を持続していこうと考えた時に、ポンプのリース代や燃料代やホースをひっばってといったことを全て地主が行うこととなる。助成金など何か良いアイデアがないか。</p>	<p>40万円を超えると国の補助対象になる。応急対応について、燃料代は難しい。国庫対象にならないが土地改良区に委託している補助事業を利用してもらいたい。具体的な案件は個別に聞かせてもらいたい。</p>	
<p>県立中高一貫教育校ができることで、既存の3つの高校を守ると言われているが、どこがそうなのか。どれくらいの影響があると思っているのか。教員の数の影響があるのではないか。町民としては切実な問題である。予算や具体的な支援について聞きたい。</p>	<p>三次で学べる機会を増やしていきたい。県立中学に行くために東広島に通っている子どもがいる。地元から県立中学校に通える環境や可能性を考えている。現在市内には12の中学校があり、13校目の中学校という認識でいる。新しい県立中学校と12の中学校との交流も考えている。合同研修で身につけていけると良い。県立中学校の質の高い授業も期待ができる。市外の中学校で学んでいる子どもが、少しでも地元にとどまってもらえたらと思っている。3つの高校が市内にあるのは珍しい。さらに町内に小中高があるまちは珍しい。それぞれの特色では、三次高校は、全国の難関校を受験する力をつける。青陵高校は、ものづくりを中心とし「ものけ博物館」のグッズ製作にも関わっている。日彰館高校の売りは、地域密着である。他の2校とは違う。町内の小中高の校長が定期的に研修や子どもの成長を話したり学習内容の検討をしている。吉舎町の特徴としては、保育所も含めやっといこうとしている。小・中学校9年間の学びに保育所を加えていける強みや、日彰館高校のおもてなしプランで、広島大学の留学生との交流は小中学校へ広がりを見せている。可能性を期待している。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:10月25日(木)

会場:吉舎生涯学習センター

参加者数:38人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>以前は、ホームページに地域づくり懇談会のまとめが毎年掲載されており、各会場での質疑が一目瞭然で分かるので、よく見ていた。しかし、数年前からまとめが無くなった。どうして掲載をやめたのかと問うと、自分の意見をのせないでほしいという意見があったため掲載をやめているとのことで、6月27日までに多くの意見を聞いて結論を出すと言われた。ぜひ復活してほしいと思うが、どのような結論になったのか教えてほしい。</p>	<p>地域づくり懇談会のまとめは毎年作成しており、住民自治組織へその地域のまとめを毎年送付している。ホームページへの掲載は行いたいと思う。掲載方法については、検討したい。</p>	<p>【回答補足】 19会場すべてのまとめについても、各住民自治組織に毎年配布させていただいている。また、詳細については、12月13日に回答させていただいた。(秘書広報課)</p>
<p>ネウボラみよしを見て、三次の子どもを18歳まで市が支援して、立派な市民になるような目的を感じることができた。生活支援が入った施策は他に見たことがない。ぜひ実効のあるものにしてほしい。県にまで影響を与えることになるのでは。お金や人もかかると思うがまじめにやってほしい。虐待のことも関係機関との連携が必要になる。三次の子どもを大切に育ててほしい。できることがあれば手伝いたい。</p>	<p>ネウボラみよしについて、市民へ浸透するように周知や中身を充実させていきたい。妊娠出産について育児不安をもつ母親をできるだけ早くキャッチできるようにしたいと思っている。虐待の疑いのある場合はネットワークを強化して対応したい。</p>	
<p>吉舎保健センターで所属サークルの練習を毎週しているが、使用料が負担になる。保健センターの使用料金は小さい部屋でも600円、冷暖房使用で900円かかる。サークルの人数が少ないので負担になる。三次市のホームページでは施設の利用料金が600円となっている。時間割にしてほしい。年間の使用料金として特例をつくってもらいたい。</p>	<p>吉舎保健センターは社会福祉協議会が指定管理をしている。料金については、条例に規定されており、関係部局とも相談、検討したい。</p>	
<p>出前講座について、吉舎町自治振興連合会でも出前講座の開催を考えているが、メニューの中にはなかなか合うものがない。また、市議会を見ていると、情報の伝達については、音声告知・広報紙・出前講座と言われているが、その内容に当てはまるメニューがないということもある。内容の検討をしてほしい。</p>	<p>出前講座を希望されるメニューについて具体的にお伺いしたい。</p>	<p>【回答】 10月30日に詳細をお伺いし、10月31日に吉舎支所から回答させていただいた。(秘書広報課)</p>